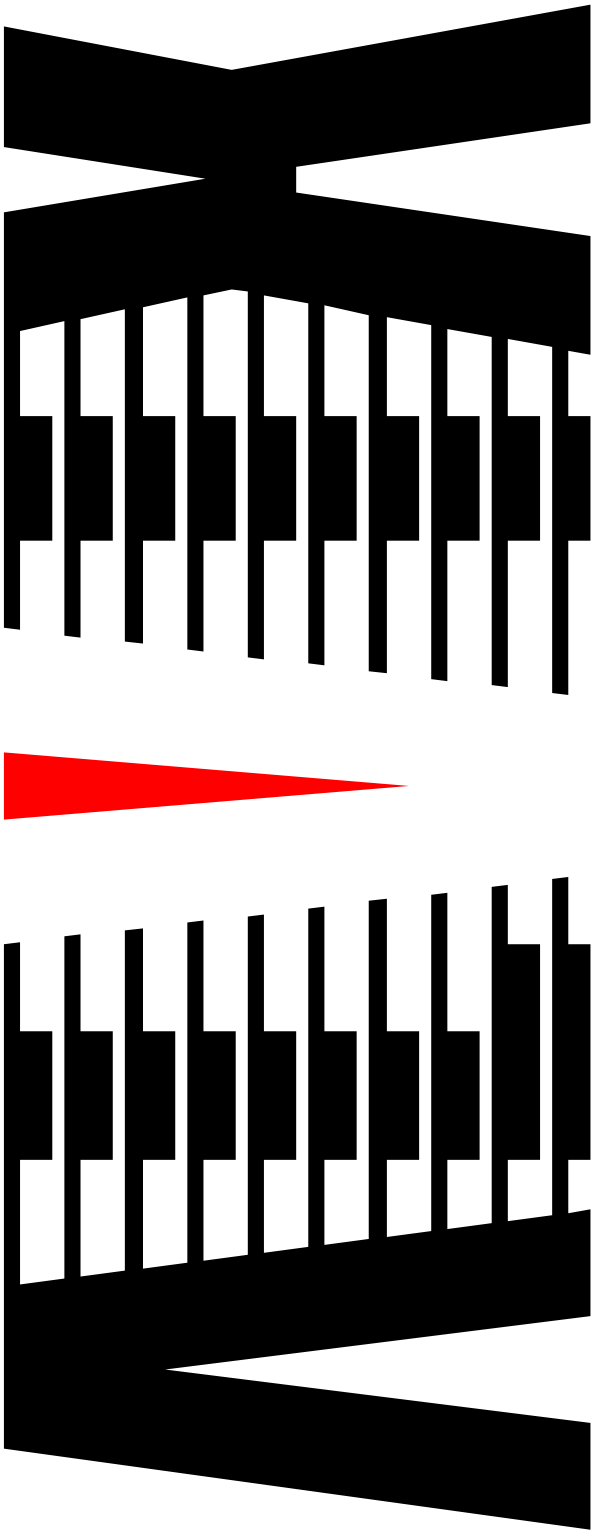
Ver.0.1

“アルビクス” HD／SD−SDI遅延装置

DLY−800／400

取扱説明書

Ver.0.1



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　　次

ページ

1. 主な機能と特徴 …… 4

2. 仕様 …… 4

3. 本装置各部の名称と機能 …… 6

3.1　フロント …… 6

3.2　リア …… 7

4. ＶＦＤ表示と設定 …… 8

4.1　VFD 画面遷移図 …… 8

4.2　VFD 表示説明 …… 9

4.3　VFD からの設定機能 …… １２

5. Ｗｅｂブラウザによる設定 …… １４

5.1　ＩＰアドレスの設定 …… １４

5.2　ＮＴＰサーバの設定 …… １６

5.3　Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスの設定 …… １７

5.4　遅延量の設定 …… １８

5.5　ライン指定と入出力位相の設定（ＨＤ） …… １９

5.6　ライン指定と入出力位相の設定（ＳＤ） …… ２０

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

◇ＨＤ－ＳＤＩ信号またはＳＤ－ＳＤＩ信号を最大８６０フレーム(約２８．７秒)遅延させて出力します。
◇エンベデッドオーディオを含むアンシラリ領域も欠落なく遅延させます。
◇ビデオ、ＨＡＮＣ、ＶＡＮＣそれぞれ独立に遅延量を設定できます。
◇映像、音声、字幕やＮｅｔ-Qの遅延量調整が可能です。

2. 仕様

◆入力信号
信号形式　：　HD-SDI　SMPTE292M　1080i［５９．９４Ｈｚ］
　　SD-SDI　SMPTE259M-C　480i［D1］
コネクタ　：　ＢＮＣコネクタ

◆出力信号 （ディレイ信号）
信号形式　：　入力と同等（入力に同期）
コネクタ　：　ＢＮＣコネクタ　３系統

◆入力信号バッファスルー出力　（THRU）
信号形式　：　入力と同等（入力に同期）
コネクタ　：　ＢＮＣコネクタ　１系統

◆通信制御
通信仕様　：　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ／１０ＢＡＳＥ－Ｔ対応
　　ＬＡＮインター―フェース
コネクタ　：　RJ-45 モジュラコネクタ
プロトコル：　ＨＴＴＰ、SNMP

◆遅延機能
フレーム遅延：　ＤＬＹ－８００　１～８６０フレーム（約２８．７秒）
　　ＤＬＹ－４００　１～４３０フレーム（約１４．３秒）
遅延量設定　：　ＶＩＤＥＯ/ＨＡＮＣ/ＬＩＮＥの３つの領域に対して独立に遅延量設定可能。
①VIDEO　：アクティブビデオ領域
②HANC　：音声を含む HANC 領域
③LINE　：任意に指定したライン(HANC 領域を除く)
※ＶＡＮＣ領域、アクティブビデオ領域の任意のラインを指定可能。複数のラインを指定可能。
出力位相調整：(入力信号基準)　水平位相±１ラインＨ　(サンプルクロック単位)
　　垂直位相±0.5 フレーム　(ライン単位)

◆電源電圧　　：　１００Ｖ ＡＣ ±５％

◆使用温度　　：　５℃　～　＋４０℃　結露なきこと

◆外形寸法　　：　H４３mm×W２１５mm×D４８０mm　（突起を含まず）

◆質　　量　　：約　２．４　ｋｇ

◆消費電力　　：約　２５　Ｗ

3. 本装置各部の名称と機能

3.1　フロント

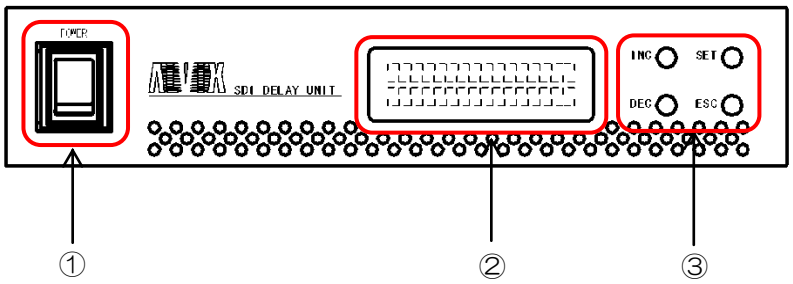


図3.1　フロント外観図

① 電源スイッチ

本機器の電源ＯＮ／ＯＦＦを行います。

② VFD

状態表示／設定用 VFD ディスプレイです。

③ ＶＦＤ操作スイッチ（ＩＮＣ／ＤＥＣ／ＳＥＴ／ＥＳＣ）

VFD の表示切替、遅延量等の設定するときに使用します。

（詳細は次節を参照）

3.2　リア

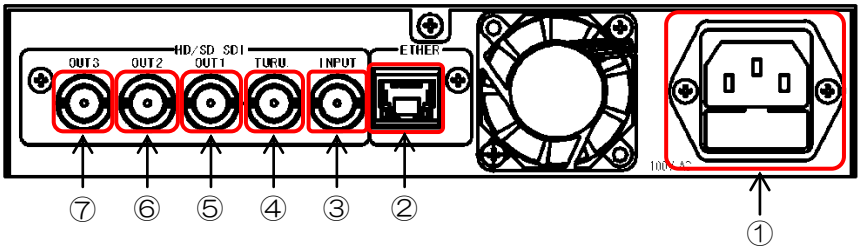


図 3.2　リア外観図

① ＡＣ入力

本機の電源入力（３Ｐインレット）です。

① ETHER

本体通信制御用のＬＡＮインターフェースコネクタです。

② INPUT

ＨＳ／ＳＤ－ＳＤＩ信号・音声信号を入力します。

③ THRU

入力された信号がバッファを介して出力されます。

本機電源ＯＦＦ時には信号を出力しません。

④ OUTPUT１

入力信号に対し設定した遅延量、位相が付加されて出力されます。

本機電源ＯＦＦ時には信号を出力しません。

⑤ OUTPUT２

OUTPUT１と同一の出力です。

⑥ OUTPUT３

OUTPUT１と同一の出力です。

4. ＶＦＤ表示と設定

VFD では、ＶＦＤ操作スイッチを押下すことで各種表示を切り替えることができ、設定状態を確認することができます。また、遅延量、ライン指定、入出力位相の設定を行うことができます。

4.1　VFD 画面遷移図

下記に画面遷移図を示します。

スイッチ操作

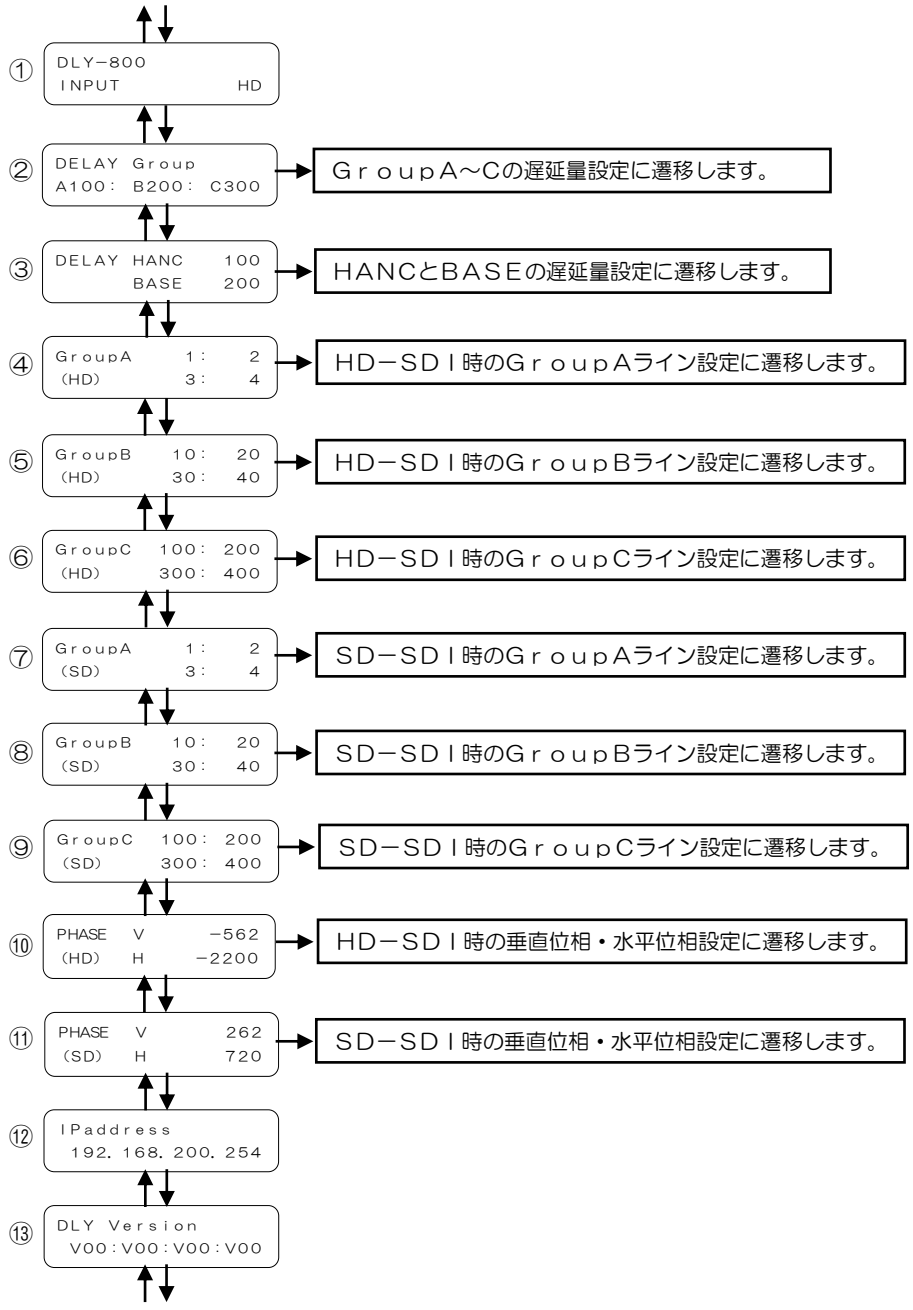
↓ ↑ → ①画面に遷移

ＩＮＣ　ＤＥＣ　ＳＥＴ　ＥＳＣ

・システム起動時

```
DELAY UNIT
 Now Loading...
```

・通常動作時



4.2　VFD 表示説明

ＶＦＤの各種表示画面について説明します。

1. システム起動時

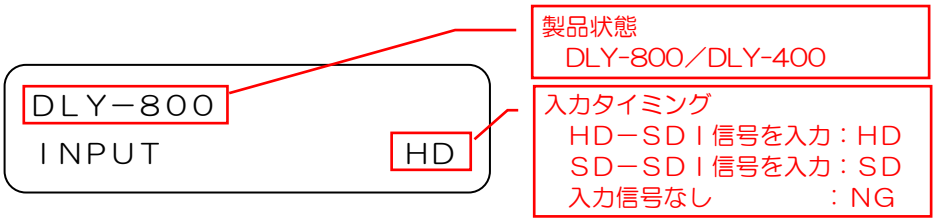
電源投入してから、本体の起動が完了するまでの表示です。

起動が完了後に２．通常動作時の（１）製品状態画面に自動的に遷移します。

2. 通常動作時

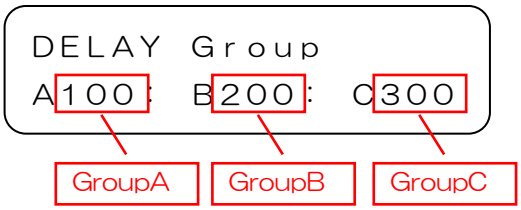
（１）製品状態画面

製品状態と入力信号の状態を表示します。



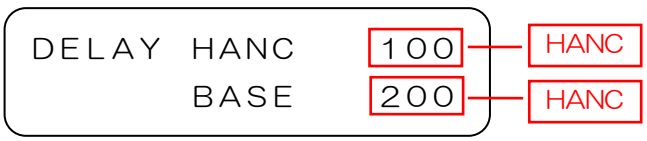
（２）GroupA～C 遅延量表示画面

ライン指定グループ A～C の遅延量の設定値を表示します。



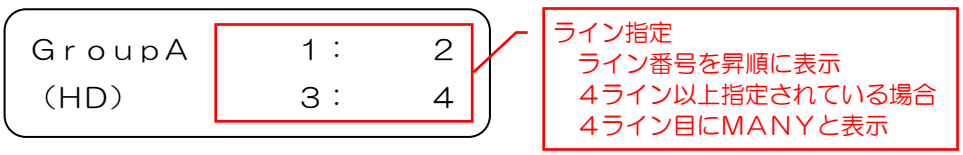
（３）HANC・BASE 遅延量表示画面

HANC と BASE エリアの遅延量の設定値を表示します。



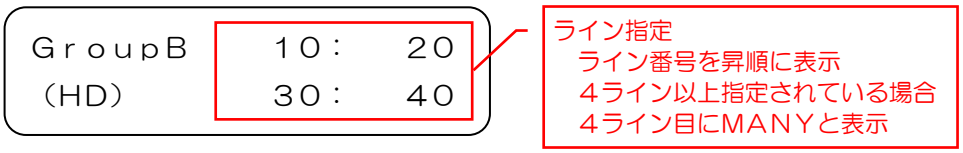
（４）GroupA ライン指定（HD）表示画面

入力信号 HD-SDI の時に設定される、GroupA のライン指定番号を表示します。



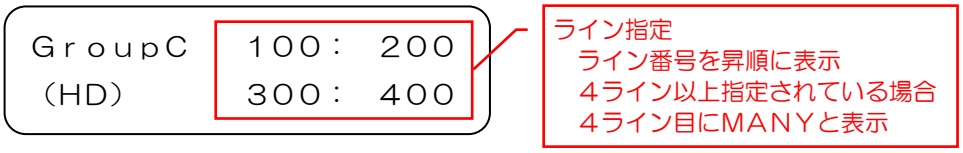
（5）GroupB ライン指定（HD）表示画面

入力信号 HD-SDI の時に設定される、GroupB のライン指定番号を表示します。



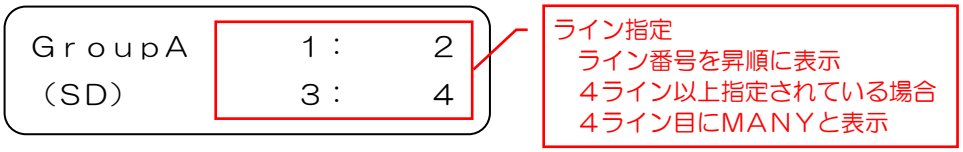
（6）GroupC ライン指定（HD）表示画面

入力信号 HD-SDI の時に設定される、GroupC のライン指定番号を表示します。



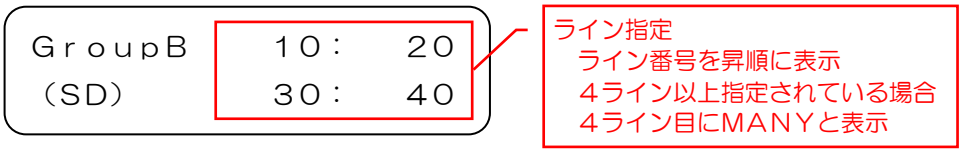
（7）GroupA ライン指定（SD）表示画面

入力信号 SD-SDI の時に設定される、GroupA のライン指定番号を表示します。



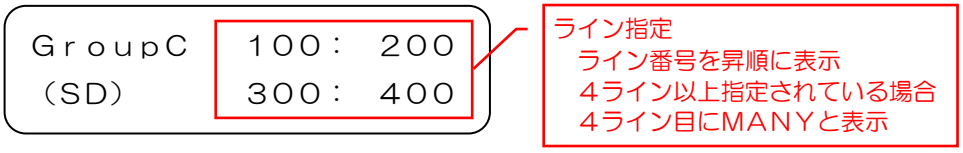
（8）GroupB ライン指定（SD）表示画面

入力信号 SD-SDI の時に設定される、GroupB のライン指定番号を表示します。



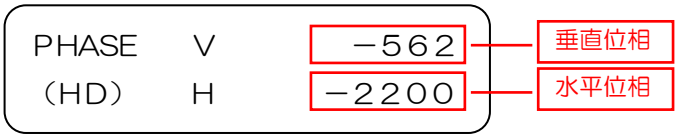
（9）GroupC ライン指定（SD）表示画面

入力信号 SD-SDI の時に設定される、GroupC のライン指定番号を表示します。



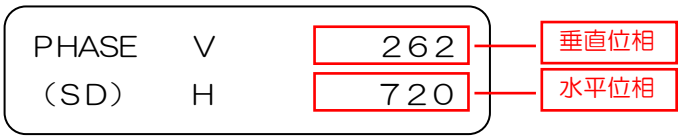
（１０）位相設定（HD）表示画面

入力信号 HD-SDI の時に設定される、垂直位相、水平位相の値を表示します。



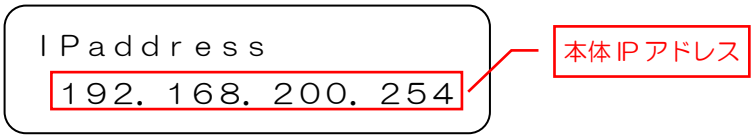
（１１）位相設定（SD）表示画面

入力信号 SD-SDI の時に設定される、垂直位相、水平位相の値を表示します。



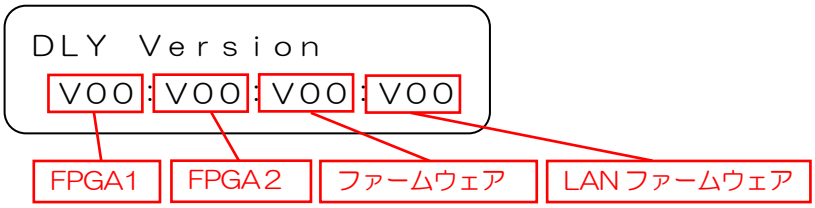
（１２）IP アドレス表示画面

本体の IP アドレスを表示します。



（１３）バージョン情報表示画面

本体のバージョン情報を表示します。



4.3　VFD からの設定機能

VFD からの遅延量、ライン指定、入出力位相の設定方法について説明します。

1. GroupA～C 遅延量設定画面

GroupA～C 遅延量表示画面でＳＥＴスイッチを押下すると遅延量設定画面に遷移し、GroupA～C の遅延量を設定することができます。

（1）遅延量の変更

カーソルが点滅しているグループの遅延量を変更することができます。

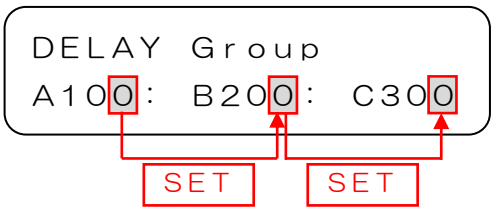
ＩＮＣ／ＤＥＣスイッチを押下することにより増減し、押し続けることにより早く数値を増減させることができます。

（2）遅延量の設定

ＳＥＴスイッチを押下すると遅延量が設定され、カーソルが次のグループの遅延量に移行します。カーソルは GroupA、GroupB、GroupC の順に移行し、GroupC の設定が終わると GroupA～C 遅延量表示画面に戻ります。

（3）遅延量変更のキャンセル

ＥＳＣスイッチを押下することで設定をキャンセルし、GroupA～C 遅延量表示画面に戻ります。



2. ＨＡＮＣ・ＢＡＳＥ遅延量設定画面

HANC・BASE 遅延量表示画面でＳＥＴスイッチを押下することで、遅延量設定画面に遷移し、HANC と BASE の遅延量を設定することができます。

（1）遅延量の変更

カーソルが点滅しているグループの遅延量を変更することができます。

ＩＮＣ／ＤＥＣスイッチを押下することにより増減し、押し続けることにより早く数値を増減させることができます。

（2）遅延量の設定

ＳＥＴスイッチを押下すると遅延量が設定され、カーソルが次の遅延量に移行します。カーソルは HANC、BASE の順に移行し、BASE の設定が終わると HANC・BASE 遅延量表示画面に戻ります。

（3）遅延量変更のキャンセル

ＥＳＣスイッチを押下することで設定をキャンセルし、HANC・BASE 遅延量表示画面に戻ります。

3. ライン指定設定画面

各ライン指定表示画面でＳＥＴスイッチを押下することで、ライン指定設定画面に遷移し、ライン指定を設定することができます。ただし、ＶＦＤからの設定は４ラインのみとなりますので、４ライン以上指定する場合はＷｅｂブラウザから設定を行ってください。

（１）ライン指定番号の変更

カーソルが点滅しているライン指定番号を変更することができます。

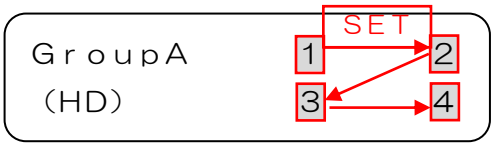
ＩＮＣ／ＤＥＣスイッチを押下することにより増減し、押し続けることにより早く数値を増減させることができます。

（２）ライン指定番号の設定

ＳＥＴスイッチを押下するとライン重複チェックを行い設定され、カーソルが次のライン指定番号に移行します。４ラインの設定が終わると昇順に並び替えし、ライン指定表示画面に戻ります。また、Ｗｅｂブラウザで複数ライン指定した状態で、ＶＦＤからライン指定すると設定した４ラインのみが有効となります。

（３）ライン指定番号の変更のキャンセル

ＥＳＣスイッチを押下することで設定をキャンセルし、ライン指定表示画面に戻ります。



4. 位相設定画面

位相設定（HD）表示画面／位相設定（SD）表示画面でＳＥＴスイッチを押下することで、位相設定画面に遷移し、垂直位相と水平位相を設定することができます。

（１）位相の変更

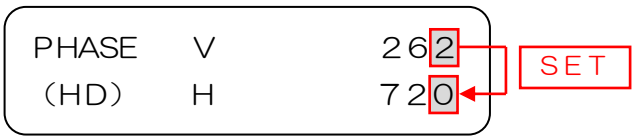
カーソルが点滅している位相を変更することができます。ＩＮＣ／ＤＥＣスイッチを押下することにより増減し、押し続けることにより早く数値を増減させることができます。

（２）位相の設定

ＳＥＴスイッチを押下すると位相が設定され、カーソルが次の位相に移行します。水平位相の設定が終わると位相設定（HD）表示画面／位相設定（SD）表示画面に戻ります。

（３）遅延量変更のキャンセル

ＥＳＣスイッチを押下することで設定をキャンセルし、位相設定（HD）表示画面／位相設定（SD）表示画面に戻ります。



5. Ｗｅｂブラウザによる設定

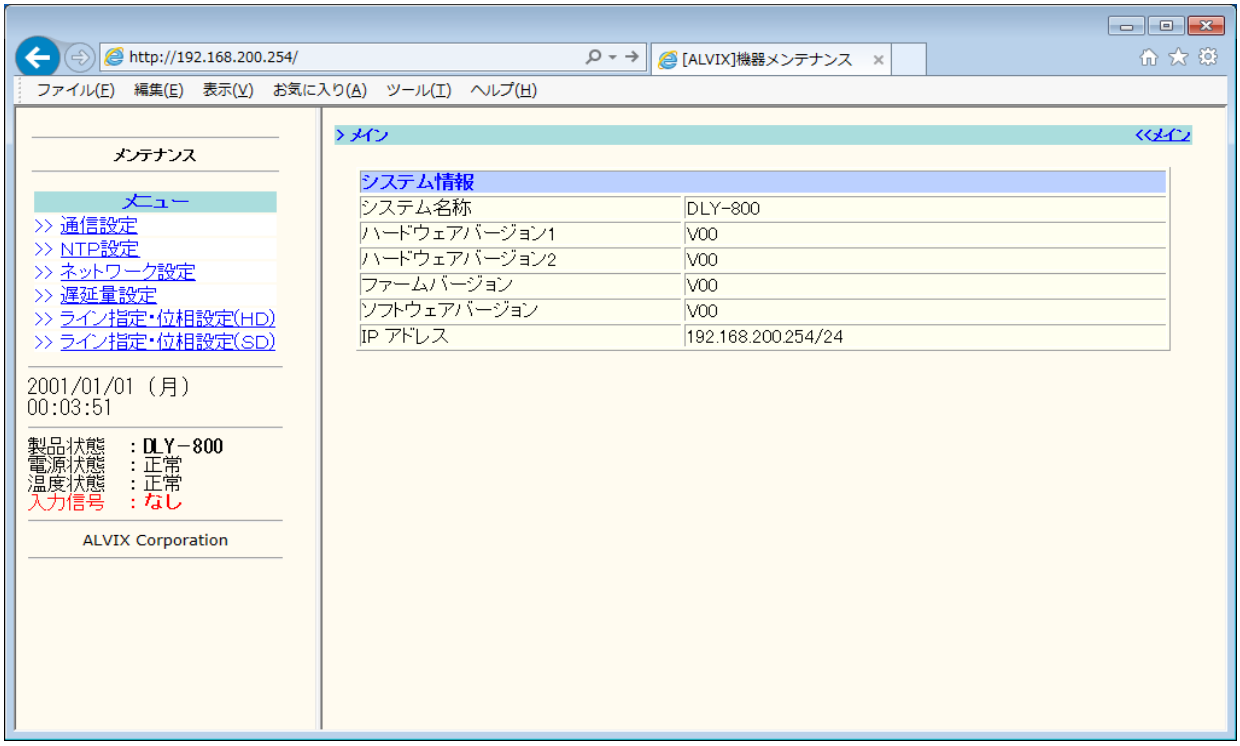
5.1　　ＩＰアドレスの設定

１）本装置の電源を投入した状態で、ＥＴＨＥＲコネクタと Windows PC を LAN 経由で接続します。（クロスケーブル直結または HUB 経由）

※PC の OS が WindowsXP(SP2 以降)／WindowsVista／Windows7 の場合は、ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。

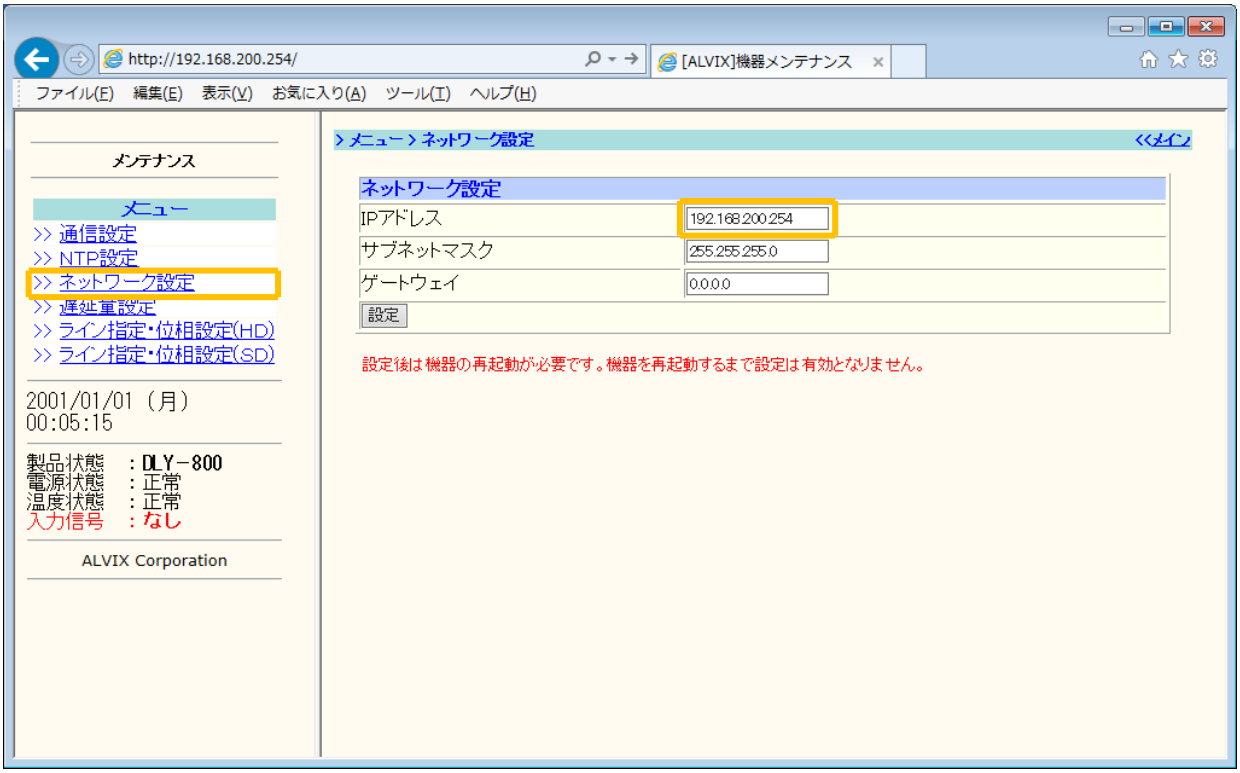
２）Windows PC 上で Web ブラウザを起動し、本装置本体のＩＰアドレス（http://aaa.bbb.ccc.ddd/）を入力すると下記画面が表示されます。

※ＷｅｂブラウザはＩｎｔｅｒｎｅｔＥｘｐｌｏｒｅｒを使用してください。
また、ＩｎｔｅｒｎｅｔＥｘｐｌｏｒｅｒのバージョンによっては動作しない場合があります。その場合は互換表示設定を行ってください。



（実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります）

3）ブラウザ画面左側の「ネットワーク設定」をクリックすると下記画面が表示されるので、
ＩＰアドレスの欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。
設定後は本装置の電源を再投入します。

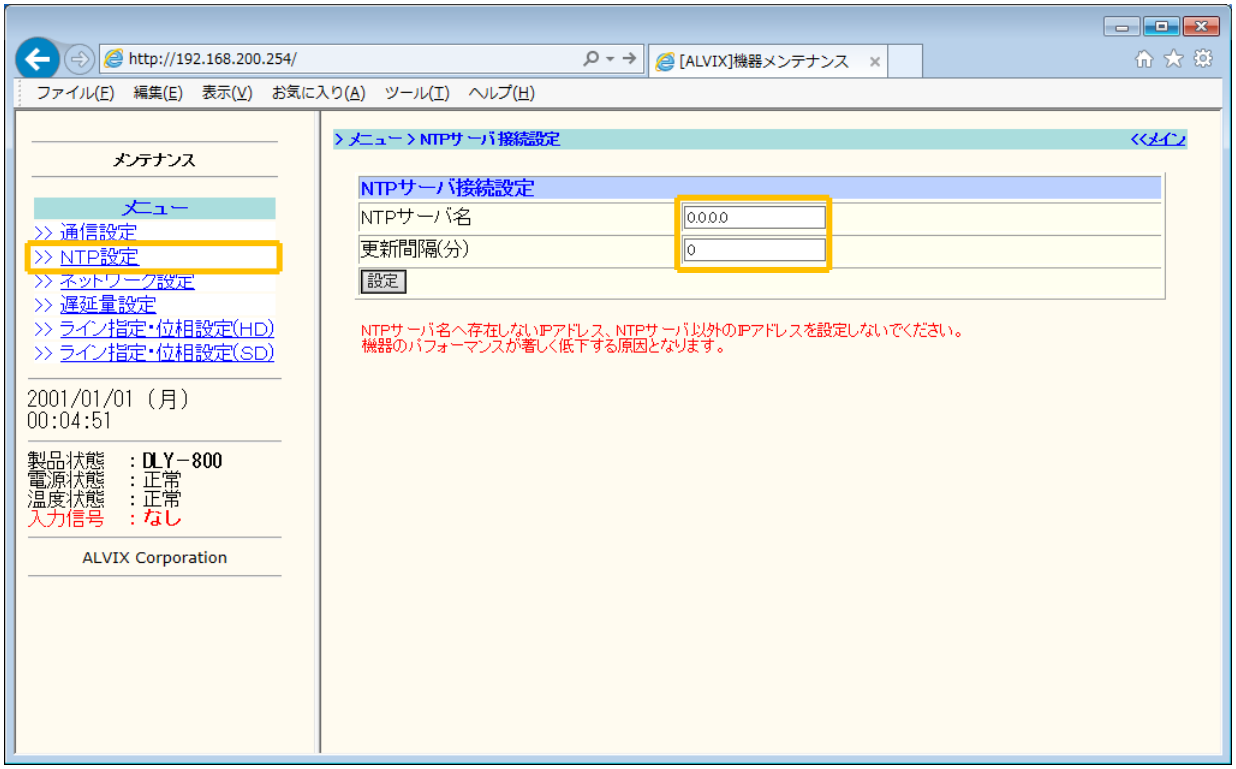


（実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります）

5.2　ＮＴＰサーバの設定

１）前項と同様の手順で「ＮＴＰ設定」をクリックすると下記画面が表示されるので、ＮＴＰサーバ名の欄を変更して「設定」ボタンをクリックします。
（「０．０．０．０」に設定するとＮＴＰサーバは設定されません）
また、時刻更新間隔を分単位で設定する事が可能です
（最大 1440 分。０に設定した場合は時刻更新を行いません）

※ＮＴＰサーバＩＰアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスや、ＮＴＰサーバが動作していないＰＣのアドレスは設定しないで下さい。
本装置の通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。

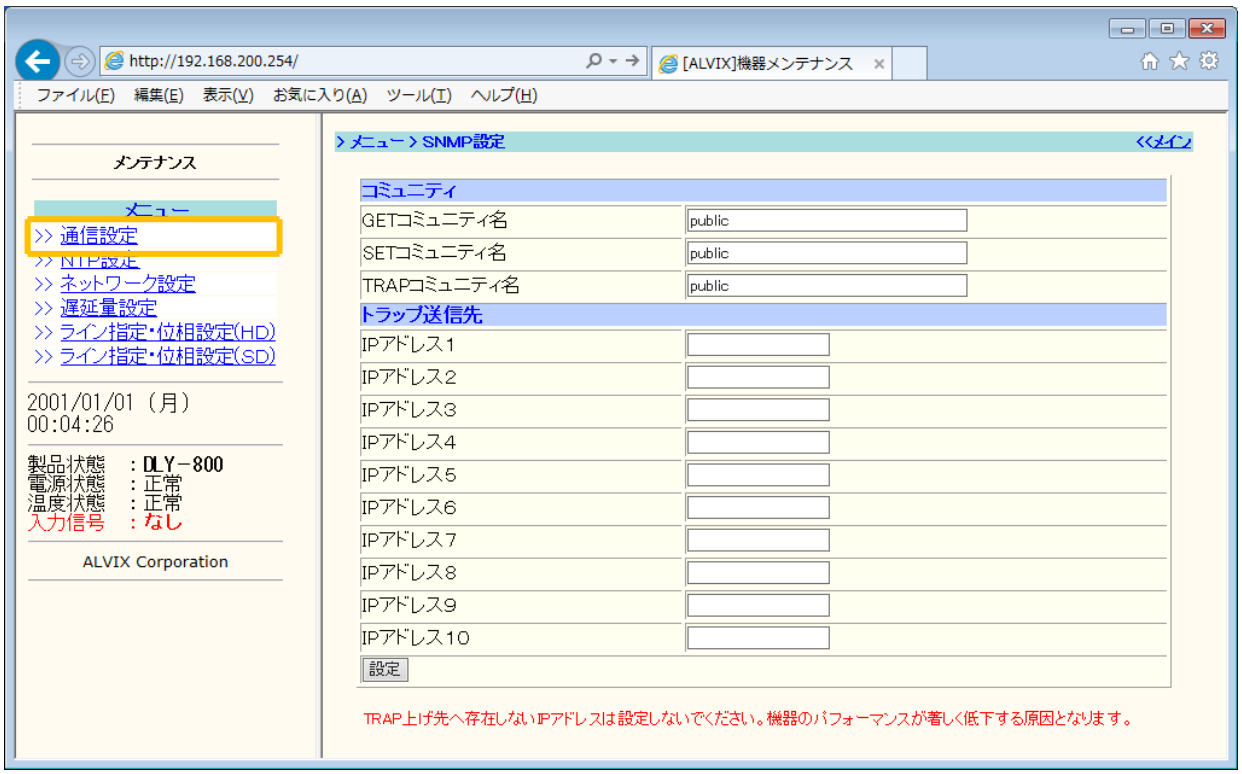


（実際の製品の IP アドレスは上記とは異なります）

5.3　Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスの設定

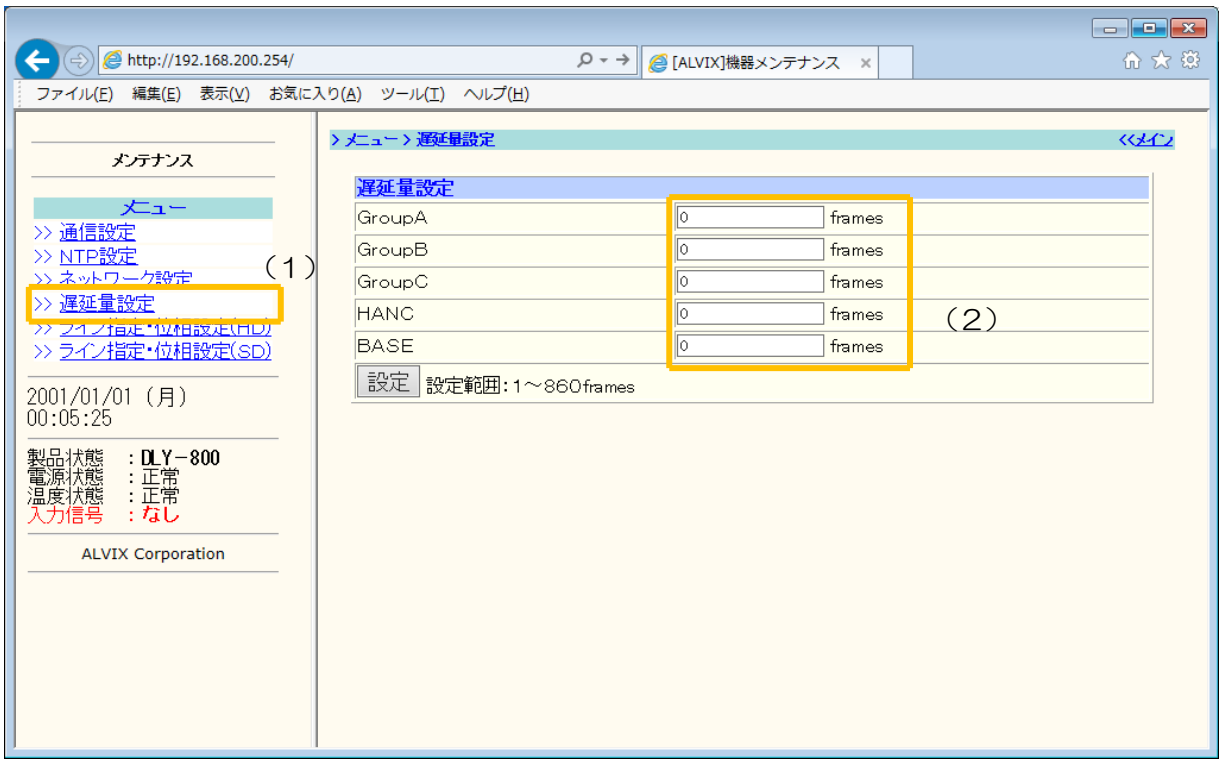
１）前項と同様の手順で「通信設定」をクリックすると下記画面が表示されます。
任意のコミュニティ名を設定してください。（半角英数３０文字以内で設定できます。）
Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスを設定して「設定」ボタンをクリックします。
（Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスは最大１０箇所まで設定可能です）

※Ｔｒａｐ先ＩＰアドレスに、ネットワーク上に存在しないアドレスは設定しないで下さい。
本装置の通信パフォーマンスが著しく低下する原因となります。



5.4　遅延量の設定

1）前項と同様の手順で「遅延量設定」をクリックすると下記画面が表示されます。

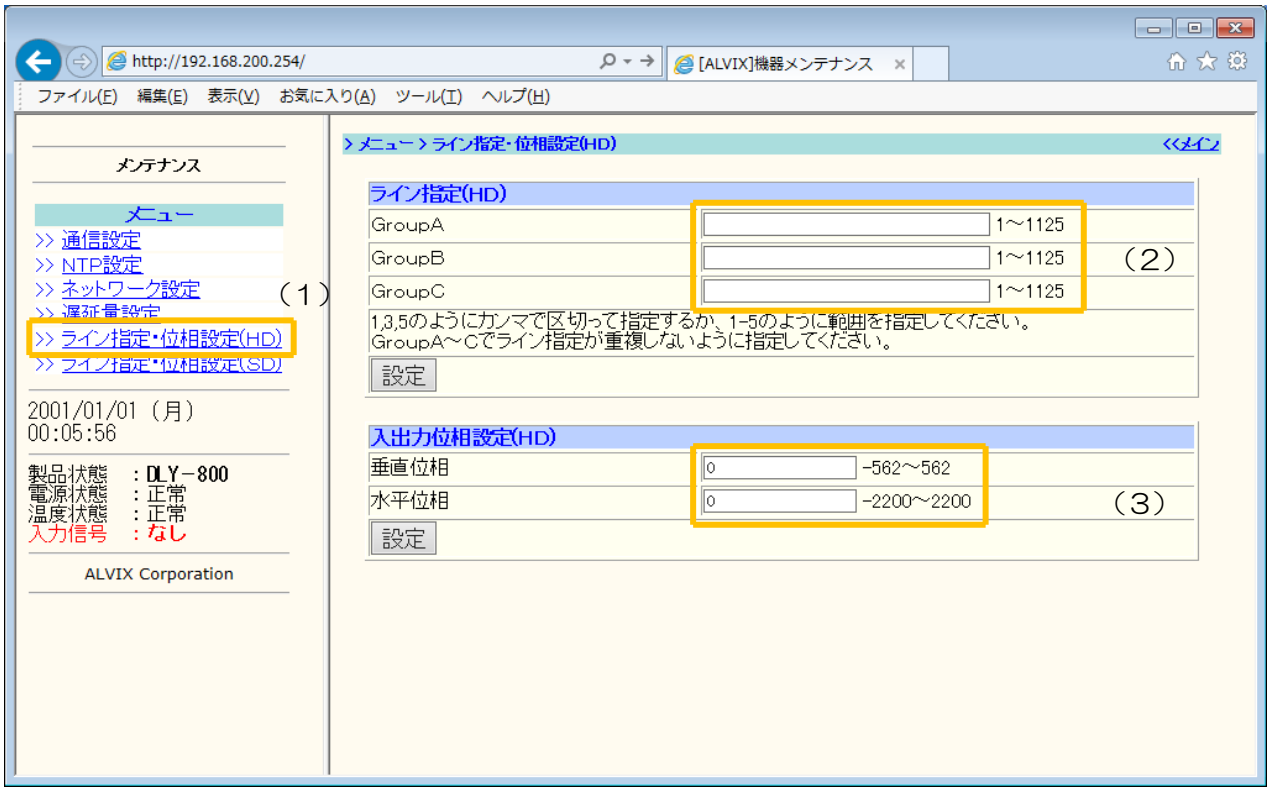


2）各遅延量をフレーム単位で設定し、「設定」ボタンをクリックします。
設定した遅延量は本体で記憶され、電源を切っても有効です。
また、製品状態によって設定できる範囲が異なります。
ＤＬＹ－８００　：１～８６０フレーム（約２８．７秒）
ＤＬＹ－４００　：１～４３０フレーム（約１４．３秒）

5.5　ライン指定と入出力位相の設定（HD）

1）前項と同様の手順で「ライン指定・位相設定（HD）」をクリックすると下記画面が表示されます。入力信号がHD－SDI信号の場合に設定されるライン指定と入出力位相を設定します。

※画面読み込みに時間がかかります、読み込み中は画面が白くなりますがそのままお待ちください。



2）遅延させるラインを指定します。

3グループまで設定することがきでます。ただし、ラインが重複しないように指定してください。ライン指定後に「設定」ボタンをクリックします。

ライン指定範囲は１～１１２５ラインまでです。

3）出力位相の設定をします。

垂直位相、水平位相を設定することがきでます。設定後に「設定」ボタンをクリックします。

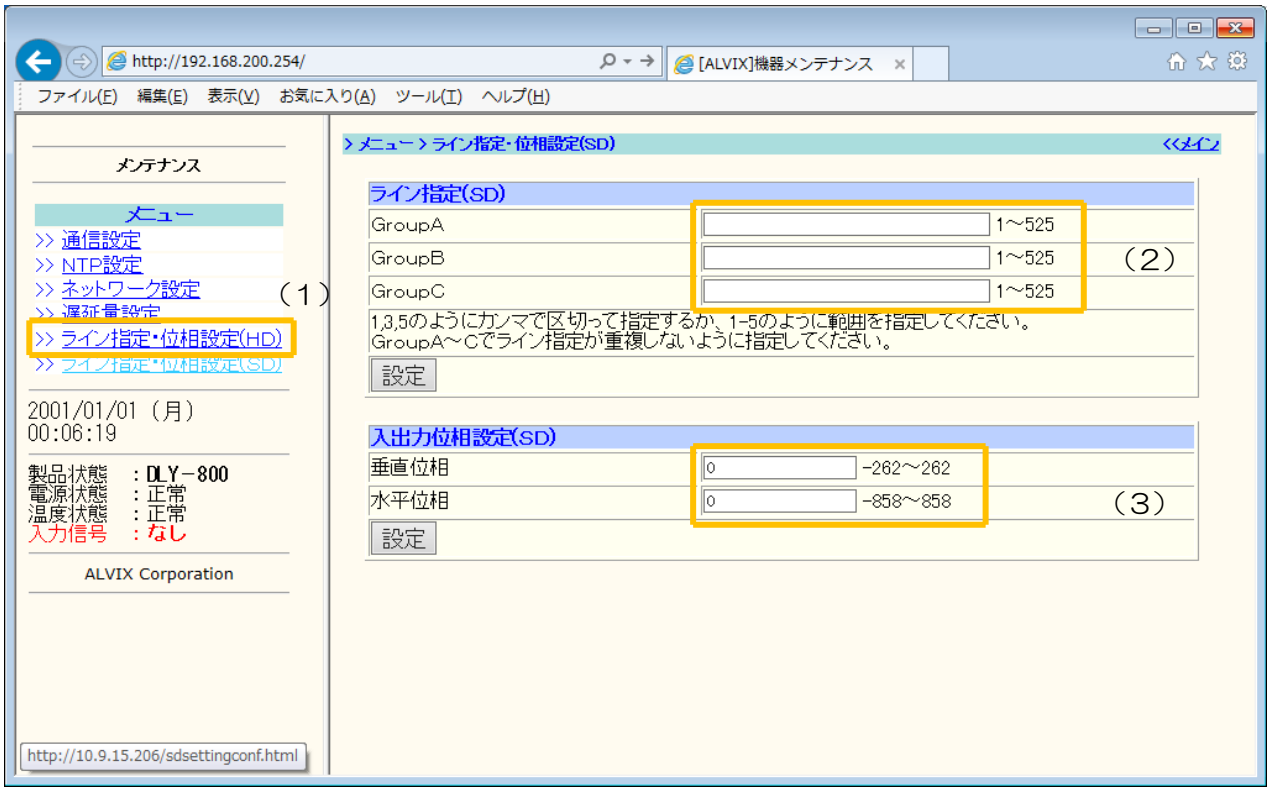
垂直位相設定範囲　：－５６２～５６２

水平位相設定範囲　：－２２００～２２００

5.6　ライン指定と入出力位相の設定（ＳＤ）

１）前項と同様の手順で「ライン指定・位相設定（ＳＤ）」をクリックすると下記画面が表示されます。入力信号がＳＤ－ＳＤＩ信号の場合に設定されるライン指定と入出力位相を設定します。

※画面読み込みに時間がかかります、読み込み中は画面が白くなりますがそのままお待ちください。



２）遅延させるラインを指定します。

３グループまで設定することがきでます。ただし、ラインが重複しないように指定してください。ライン指定後に「設定」ボタンをクリックします。

ライン指定範囲は１～５２５ラインまでです。

３）出力位相の設定をします。

垂直位相、水平位相を設定することがきでます。設定後に「設定」ボタンをクリックします。

垂直位相設定範囲　：－２６２～２６２

水平位相設定範囲　：－８５８～８５８

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８